

# 予算常任委員会

## 本会議

3月8日の本会議では、一般会計予算を除く、条例案や特別会計、企業会計予算案等について審議され活発な質疑が行われました。その一部について掲載致します。

## 平成31年病院事業会計予算 ～厳しい市立病院経営 立て直しが急務だ～

**質問** 市立病院経営については、常勤医がゼロとなっている精神科も含めた医師確保対策や、患者の減少による収益悪化の課題などを抱え、これまでも増して厳しい状況となっているが、抜本的経営改革に着手しなければ、今後の病院存続が危ういと思われる。平成31年度において、具体的にどのような経営改革を行っていくのかについて問う。

**答弁** 医師確保については、現在地方において益々厳しく、また、医師の偏在化も起こっている状況にある。精神科の常勤医師については、秋田大学をはじめ様々な方面と協議をしているが、未だ厳しい。一方で市の就学資金制度を利用した方が、産婦人科医師として4月から着任する予定となっている。数年後には順次、制度を利用した方々の赴任が期待される。今後も粘り強く医師確保に取り組んで行く。また、人口減が進んでいる中であって、若年層の減少は避けられないが、高齢化による需要もあり、ニーズを把握し、特色のある医療を提供する必要があると考えている。病院経営は現在健全経営とは言えず、入院・外来収益を向上させるため、危機感をもって取り組みを行う。角館総合病院については、改善点を洗い出し、コンサルタントの指導も仰ぎながら改革を行う。医療局には経営企画推進室を設け、市立病院の経営改善につき、継続的なマネジメントと合わせ、本市にとって真に必要な地域医療の将来像を模索し、中長期的な機能の在り方も検討して行くこととしている。

## 予算常任委員会

平成31年度一般会計予算と平成30年度一般会計補正予算について審査されました。審査は各常任委員会による分科会形式となっており、その審査内容の一部について掲載致します。

### ○総務文教分科会

～平成31年度の予算編成について 予算要求額と実際の予算額は？～

**答弁** 平成31年度の一般会計予算は、要求額240億7,742万円に対し、査定された当初予算額は、211億1,600万円である。

適正な財政調整基金として、12億円は確保したい（当初予算5億3,123万円）。逼迫した財政事情を全職員が認識し、今から来年度以降の予算編成を意識し日々の業務にあたる。

### ○市民福祉分科会

～10月からの幼保無償化について 準備状況はいかに？～

**答弁** 10月からの幼保無償化に伴い、システム変更の経費を措置している。予算要求段階では国会の方針が未決定の為、前年同様の要求をしている。無償化に伴う保護者負担等については早急に検討する。

### ○産業建設分科会

～企業誘致 このままのやり方で良いのか？～

**市長** 企業誘致の在り方について、何度も同じような指摘もかかわらず、実績がない事は私の指導力不足としか言いようがない。さらに、仙北市へ進出を模索している企業の皆様から“あてにならない自治体だ”と思われることが一番心配である。市のシステムとして、各セクションが役割を果たせるよう急いで見直しをしたい。又、来年度秋田県の産業集積課に職員を派遣する事としている。実績につなげたい。（市長答弁）

### トピックス

#### 【角館東地区公民館（旧角館東小学校）野球場に市内企業が移転 野球場使用継続 求める声も】

市では、角館東地区公民館（旧角館東小学校）付属の野球場を市内企業（㈱セレクトラ）の移転用地として提供する予定であることを明らかにしました。この野球場は現在も市内500歳野球チームや学童野球の練習・大会等で使用されており、市野球連盟を始めとした各団体からは、市や議会に対し「野球場の使用継続を求める要望書」が提出されております。市では、野球場を企業用地として提供するためのこれまでの手順や、利用者に対する説明が不十分であったとし、今後、代替となる施設の整備も含め、更なる理解を得ながら進めるとしています。議会では、「市内の雇用を守るためにも用地の提供はやむを得ない」とする意見もある一方で、「そもそも利用者がいて、現在も目的を持って使用されている行政財産なのだから、簡単に転用はできない」、「雇用は大事だが、特定の個人や企業に対し、随意契約で市民の財産を提供する法的根拠はない」などとする意見もあり、一般質問や委員会などで活発に議論されております。議会最終日の本会議では、「公民館条例」の内、野球場の使用料について定められている部分を削除する条例改正案が提案され、採決の結果賛成多数で可決されました。今後は、より不公平感なく市民に丁寧な進め方が求められます。